

3 平成 29 年度学校評価設定報告書

平成 29 年度学校目標	取 組 の 内 容	
	具 体 的 な 手 立 て	評 価 の 観 点
<ul style="list-style-type: none"> 幅広い興味・関心に対応できる教育課程の編成と個に応じたきめ細かい学習支援の体制づくりを進める。 放課後を使った日常的な学習指導や長期休業中の補習・講習の体制を整備する。 授業マナーの指導を通して生徒の学習意欲の向上・学習態度の改善を図るとともに、言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育む取組みを充実させる。 校外機関や中学校との協力を得て、生徒・教員双方向発信型の授業研究実践を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)学校及び各教科で定めた「育てたい生徒像」を反映した教育課程に基づいた学習支援を着実にを行う。 (2)放課後・長期休業中などを利用して、講習・補習の充実を図り、学力の定着を図る。 (3)生徒に身に付けさせたい力を明確にした、全科目統一書式に基づく年間学習指導計画を作成する。 (4)「思考力を伸ばすための授業実践集」・「逆さま歴史教育」に基づいた授業づくりを行い、学習成果発表会を設定する。 (5)知識技能を身につけさせたい授業においても、主体的、協働的な学びの学習を取り入れる。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)「育てたい生徒像」に生徒が近づき、また生徒のニーズや進路希望に沿った学習支援ができたか。 (2)長期休業中の講習・補習の講座数や参加生徒数が増えたか。 (3)生徒に身に付けさせたい力を明確にした単元指導計画や年間学習指導計画を作成できたか。 (4)基礎的な知識技能の定着とともに思考力・判断力・表現力が高まっているか。 (5)生徒による授業評価の項目における「かなり当てはまる」の回答率が増えたか。
<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面で地域社会の一員としての規範意識を育む。 校内の教育相談体制を充実させるとともに、外部機関との連携を図り個に応じた支援体制を整備する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)①「挨拶」「アイコンタクト」「リスペクト」を推進する。 ②服装・頭髪・遅刻・授業規律について、年間を通して担任、学年、グループと段階を追って指導を行う。 ③日常的に駐輪指導、校内巡回指導を行う。 ④定期的に自転車点検、自転車乗車マナー指導、登下校指導を行う。 (2)①養護教諭とスクールカウンセラー・教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制を整備する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)①～④の取組により、地域社会の一員としての規範意識を育むことができたか（指導件数、近隣住民からの苦情件数、担当教員による評価）。 (2)①の取組により、校内教育相談体制の整備が進んだか（担当教員による評価）。
<ul style="list-style-type: none"> (1年)学習に意欲的に取り組み、基礎学力・基礎体力を身につけ、自己の興味・関心や適性を理解し、将来の職業を意識して進路を考えることができるようにする。 (2年)興味・関心を持った事柄に積極的に挑戦しようとする姿勢を育む。一方で将来を見据えた進路実現のための方策を示唆し、具体的な支援を行う。 (3年)自分の弱点や課題を自覚し、粘り強く取り組み、諦めずに克服しようとする姿勢を育む。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)(1年)進路講演会やガイダンスをとおして、職業について広く知り、仕事に就くまでに必要な学習等について理解を深め、進路の方向性を固めることができるように、各ガイダンスの目的を明確にして、事前事後の指導体制を充実させる。 (2)(2年)オープンキャンパスや分野別進路ガイダンスをとおして、具体的に就きたい職業やそれを実現するために必要な手立てや進学先を考えさせる。その時に適切な情報提供や助言が行えるように職員研修を充実させ情報の共有や情報発信のあり方を改善する。 (3)(3年)安易な方向に流されることなく、受験方法等を明確にして、第1希望の自己実現を目指す指導を行う。そのための情報収集や情報提供の仕方、講習等の学習支援のあり方を検討する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)進路意識が充実し、それに伴う行動ができるとともに、自己実現ができたか。（進路希望と実績の比較、オープンキャンパスや1日体験等への参加人数、ワークシート記述分析） (2)自分の適性を知り、情報収集をとおして必要な知識の定着や能力の育成、将来の目標が明確になったか。（ワークシート・振り返りシート記述分析） (3)受験に耐えられる基礎学力、基本的な学習習慣が定着したか。また、意欲的に発展的学習に取り組めたか。（講習や模試の参加人数等）
<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺の清掃等で、地域周辺の清掃活動や環境の保全に協力をする。 年間の学校説明会や中学校訪問において広報の方法や内容を全職員で取り組むものとして検討し、情報発信を強化する。 ホームページを中学生やその保護者を対象とした構成にし、閲覧数を増加させる。 地域、瀬谷養護分教室と連携した学校行事（文化祭等）にさまざまな分野での参加や協力を求め、学校からも地域行事への積極的な参加を図る。 授業や部活動において、近隣の小中学校との交流を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)年2回の地域清掃活動と上和田中学校との連携で実施する登校清掃活動を継続的に実施する。 (2)学校説明会や中学校訪問で配布するパンフレットやポスター、チラシを充実させ、積極的に情報発信を行う。 (3)ホームページの更新を必要に応じて行い、最新の情報を先頭に置く構成にすることで情報発信を進めていく。 (4)地域の文化的行事に参加し、本校文化祭でも多くの方々を招き、交流を推進する。 (5)学校外へのボランティアや部活動レベルで福祉施設や近隣小中学校への訪問の機会を増やす。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)地域と合同した清掃活動・環境保全活動が行うことができたか。（担当教員による評価） (2)本校の取り組んでいる内容を的確に伝えられるよう配布資料、説明内容等を精選し、工夫に努めたか。（担当教員による評価） (3)ホームページの閲覧数が増加したか。または、本校の情報が的確に伝わっていることが学校説明会等でのアンケートによって示されたか。 (4)地域の行事に本校の生徒が参加し、文化祭でも地域交流ができたか。（担当教員による評価） (5)学校外へのボランティア参加生徒を増やし、関心が持てるよう活動したか。（担当教員による評価）
<ul style="list-style-type: none"> 生徒向けにDIG（図上訓練）を総合的な学習の時間やLHRで実施する。 ゴミ箱等を含め清掃用具を計画的に刷新し、分別する意識が持てる環境整備をする。 地域の指定避難所としての役割を再確認し、発災時の対応について検討する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)生徒向けにDIG（図上訓練）を実施して、災害に備える意識を醸成し、学校として備えるべきことを再確認する。 (2)清掃用具を刷新し、効率的な配置を考え、職員自らが教育環境の整備、校内美化を心がけ、日々の清掃活動の充実を図る。 (3)指定避難所開設のシミュレーションを行い、発災時の受け入れ態勢を構築する。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)の取組により、防災意識が高まったか。（担当教員による評価） (2)の取組により、生徒の美化意識・緑化意識が高まったか。（担当教員による評価） (3)指定避難所開設についての学校側の態勢が整ったか。